

粟生町地域福祉委員会 だより

2013-6-No. 2

ふれあいの花一輪運動 のスタート!

小さくて可愛い花を小学校の子どもたちが育て、綺麗な花が咲いたら、粟生小校下のお年寄りに花をプレゼントしてひと時の安らぎと、心温まる気持ちを持って頂きましょうという願いで、この運動を開始しました。子どもたちには花をお世話する時と、自分が育てた花をお年寄りにあげるという“優しい気持ち”を感じてもらい、お年寄りの方たちには、自分のお孫さんみたいな子どもたちから花を受け取った時に、心が和み会話が弾むような状況になれば嬉しいかなと思います。育てる花は“ゼラニウム”と“ペチュニア”の2種類の花を準備しました。この運動は『粟生校下健やかな青少年を育てる連絡協議会』提唱により、校下の民生児童委員、粟生町地域福祉委員会などの協力によって進められている事業です。子どもたちの純な心と、可愛い花をお年寄りたちにあげる事によって、両者の気持ちが深まり“新しい絆”が生まれれば、最初に考えていた目的を達成できるのでは無いでしょうか。これらの想いをもって5月30日(木)、粟生小学校横の緑地広場にて、苗の鉢替え作業を四つの団体の協力の下、粟生小学校の児童たちと一緒に行いました。当日は生憎の雨が少し降りましたが、作業は無事終了しました。後は子どもたちが水掛けなどの日々の世話をし、小さくて可愛い花が咲くことを待つばかりです。



* 老人クラブ、福祉推進員の人たちによる、事前の土入れ



* 子どもたちによる花苗の鉢替え。これってやっぱり難しいなあ



* 先生、これってどうするんですか?



* 植え替えられてキチンと整列です